

富岡区民（氏子）の皆様へ



車神社だより

車神社をつなぐ会

平成30年10月28日

NO. 8

車神社のホームページを作成中

車神社のHPを作成中ですが、アップしましたのでご利用ください。車神社の由緒、年中行事、写真で見る車神社、ドローン写真、授与品等を見ることができます。他地域の方に紹介する時に役立つと思いますのでご活用ください。

富岡ふるさと会館のHPの右側やや下段、車神社の表示をクリックすると開きます。

東日新聞 2018年(平成30年) 第3種郵便物認可 10月28日(日)

「新城ラリー」機運を高める

「車神社をつなぐ会」と愛大生ら 当日は会場に授与所

新城市富岡の車神社をつなぐ会(近藤隆会長)が進める「車神社を活用したまちおこし」に共感した愛知地域政策学部学生らが、今年度に入り、会の活動に協力している。来月3、4両日に新城総合公園で開かれる新城ラリーでは、神社のイメージキャラクターの「ひるめちゃん」と同じ巫女(みこ)となって、交通安全や車の安全、神社の広報に一役買う。学生らは、スポーツ大会でのボランティアなどに取り組んできた「Revolution」新城市のメンバー9人。活動は、愛知大学で2011年度から行っている学生主体の事業の一環で、学生が地域に潜む問題などを自ら発見、地域の人たちと協力しながら進めている。

期間中は、ラリー会場に臨時の授与所を設置。会員18人とともにドライバーや来場者に車神社の広報とお守りなどの神社祈とう品を授与する。

メンバーの中で唯一、市内在住の竹内姫蘭さん(19)は「これまで活性化に向けてのアイデアを出してきたが、いよいよ実際に呼びかけをするというところで、みんなががんばろうと燃え上がっている」と意気込みを語った。

車神社は、1583(天正11)年の棟札(むなぶだ)から、かつて同神社が「車大明神宮」と呼ばれ



活動に参加する愛大生と会員ら(新城市の富岡ふるさと会館で)

ていたことがわかっている。祭神は現在の日本武尊(やまとたけるのみこと)ではなく、大日靈尊(おおひるめのみこと)。社紋の車輪は神道の太陽神、仏教の法輪を意味するとされ、祭神の大日靈尊は馬車で天をかける日天(にってん)とつながりがある。会によると、社名、社紋、祭神のすべてが車と関わる神社は全国でここだけだという。(夏目聡)

東海日日新聞に掲載されました。人気のブログ「新城勝手に応援隊」もご参照を。

